



A-Sync NewsLetter Vol.17

Center for Agricultural and Life Sciences using Synchrotron Light (A-Sync)

6大学共催フォーラム -Designing foods for the future- を開催しました

6大学共催フォーラム -Designing foods for the future- を2023年9月28日(金)に東北大学知の館にて対面開催しました。岩手大学、東北大学、東京大学、大阪公立大学、神戸大学、宮崎大学で食の安全性に関する課題に取り組んでいる部門が当番制で取り組みを紹介するフォーラムで、今回の当番校である東北大学では食と農免疫国際教育研究センター(CFAI)が、来年に開催される知のフォーラムのプレイベントとして本フォーラムを開催し、2050年の食料問題を解決する方法に関連する講演を行いました。本間香貴先生からは農産物生産に大きな影響を及ぼす気候について、井元智子先生はコロナ禍の学生の食生活と精神状態に関する研究を、原田昌彦先生は青葉山新キャンパスに建設されている次世代放射光施設「NanoTeras」の紹介を、日高将文先生はNanoTerasの活用に向けた放射光施設での食品分析例を紹介いただきました。また、特別講演として台北医学大学の謝榮鴻先生からは「From agricultural waste to mitochondrial modulation and health-promoting functional applications」と題して、農産廃材物の資源循環利用に関する研究を紹介いただきました。パイナップルの芯や皮を発酵させたものをサルコペニア動物に投与すると、筋肉中のミトコンドリア量が上昇してATP産生量が増加するデータを示し、現在はこの発酵物を豚に与えた飼育を行っている段階であり、将来的には飼育中に発生した糞をもとに魚類や昆虫食用の飼育素材に活用することを計画しているという内容でした。講演後には、渡航して講演いただいた感謝のしるしとして、センター長の白川仁先生より Certificate of Appreciation が授与されました。このほかにも、6大学それぞれの取り組みの紹介と近況報告もされました。全体を通して、活発な質疑応答もあって、予定時間をオーバーを30分ほど超過する、白熱したセミナーとなりました。A-SyncとCFAIのセンター間コラボとなるセミナーでもあり、今後もこのようなコラボを推進し、研究の発展に繋げる予定です。

6大学共催フォーラム

Designing Foods for the Future

2023.9.28 Thu. 13:30-17:35

会場: 東北大学知の館 知の創出センター
(宮城県仙台市青葉区片平2-1-1)

プログラム

- 知のフォーラム2024(Designing foods for the future)紹介
- 講演1 謝榮鴻先生_台北医学大学
[From agricultural waste to mitochondrial modulation and health-promoting functional applications]
- 講演2 井元智子先生_東北大学
[食生活と幸福度の関係~2050年に50代になる大学生をテーマに]
- 講演3 本間香貴先生_東北大学
[作物生産における気候変動の影響と対応策の展望]
- 講演4 原田昌彦先生_東北大学
[次世代放射光施設NanoTerasの概要と、食・農領域での活用に向けた取り組み]
- 講演5 日高将文先生_東北大学
[放射光を利用した食品評価法と食品開発の展望]
- 各大学からの取組紹介
- 情報交換会(18時~片平さくらキッチン)

東北大学大学院農学研究所
問合せ先: 東北大学大学院農学研究所(食と農免疫国際教育研究センター) cfai.tohoku@gmail.com

